

8/8(木)下水道展'19横浜でお話しました！ 於：パシフィコ横浜

今年度の下水道展で武蔵野市は「水の学校」で2つ、下水道課と地域で協力して取り組んでいる臭気対策について1つ、計3つの発表の機会をいただき、全国からの来場者にPRするとともに、他の発表者と情報交換を行うことができました。



- スイス下水道研究所 みらい研究発表大会
「排水・その先～空想の世界へ」水の学校サポーター 市川ゆかりさん
- 下水道研究発表会
「吉祥寺駅周辺におけるビルピット臭気に対する地域や住民との協働による取り組み事例」武蔵野市環境部下水道課水循環推進係主事 中川貴之
- 市民科学シンポジウム～地域の未来のための協働
「地震発災時と復旧過程のトイレの使い方を考える。」水の学校サポーター 市川ゆかりさん
「水の学校」より深い市と市民の連携へ」武蔵野市環境部下水道課水循環推進係長 高橋正之

8/9(金)見学会「校庭の下に秘策あり！浸水を防ぐ巨大施設工事」 於：市立境南小学校

リポーター：水の学校サポーター 原田さん

市立境南小学校東側校庭に設置中の「雨水貯留浸透施設」の見学会が行われました。校庭を長さ20m幅16m深さ3mの巨大な穴を掘り、雨水400㎡の貯留容量を持つ再生プラスチック製「クロスウェブ」を積み重ねる工法です。見学に訪れた一般の地域の方々(小学生を含む)には、工事責任者から具体的な説明がありました。見学者からは、大規模な工事にしては短期間で工事が完了となることに驚きの声があがりました。また、校庭の地下に巨大な物体が埋設されることにも驚いていました。今後この施設が有効活用されるよう期待します。これからも様々な見学会が開かれるといいですね。大変暑い日の見学会、皆様方おつかれさまでした。



参加者の声より

- 軽量コンパクトなプラスチック製ブロックで本当に400㎡の雨水が貯水できるのかな！驚きです。
- 境南小学校の校庭に埋められた大きなブロックが世の中の人々に役立つことがうれしい。(見学した児童より)
- 貯水した雨水を地下に戻すだけでなく、小学校のビオトープなど他にも再利用できるようにしてはどうでしょうか。

水コラム no.32 : 写真で見る雨水貯留浸透施設工事

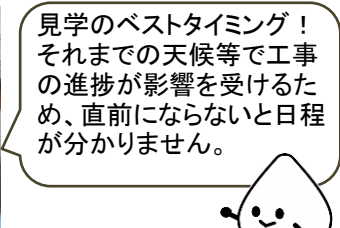
8/9の境南小学校での見学会では、雨水貯留浸透施設を設置する工事現場を間近で見ることができました。この見学会で見ることができるのは、長い工期のうちほんの一部です。前年度から設計を行い、設置する学校と調整しながら夏休み期間に合わせて行われる工事の全体像について、写真でご紹介します。



グラウンドを掘り、貯留浸透施設を設置するスペースを作ります。



コンクリート製のボックスカルバートを並べて貯留浸透施設の点検孔をつくります。



見学のベストタイミング！それまでの天候等で工事の進捗が影響を受けるため、直前にならないと日程が分かりません。



透水性シートの上に、プラスチック製の製品を並べて貯留槽をつくり透水性の目詰まり防止シートで覆います。



貯留浸透施設へ雨水を引き込む下水道管やマンホールを設置します。



最後にグラウンドをきれいに舗装します。児童生徒のみなさんの運動はもちろん、5tトラックが上を走りまわっても平気です。



「水の学校サポーター」とは？：水の学校連続講座修了生で構成する、水に関する自主活動や「水の学校」の企画・運営を行うグループです。